

事務事業名	21188 プリムローズ管理運営事業													
担当組織	こども健やか部					児童青少年課					担当	青少年担当		
組織コード	R5	18	06	00	会計・款・項・目・大事業・中事業	R5	01	03	02	05	01	01	記入日	令和 5年 6月20日
	R4	18	06	00		R4	01	03	02	05	01	01		

1. 事務事業の概要 <PLAN>

総合振興計画上の位置づけ											実施計画候補		
基本目標・考え方	01	子どもが健やかに育ち、いきいきと輝けるまち						再掲施策	10			● 対象	
施策	03	児童・青少年の育成環境の充実										○ 対象外	
事業期間	平成17年度～令和12年度												
根拠法令 通達等	児童福祉法 児童福祉法施行規則 戸田市立児童センター条例 戸田市立児童センター条例施行規則					関連計画 施政方針		子ども・子育て支援事業計画					
事業区分	<input type="radio"/> 法定受託事務 <input type="radio"/> 自治事務のうち義務的なもの <input checked="" type="radio"/> 自治事務のうち任意のもの												
強靱化計画	<input type="checkbox"/> リスクシナリオ番号：												
総合戦略	<input type="checkbox"/> 施策番号：												
対象	18歳以下の児童とその保護者等												
事業目的	遊びを通して児童の健全育成を図り、併せて体力増進、コミュニケーションの促進を図る。科学的要素や情報機能を体験しながら学習すること、創作活動を通して学校教育の補完機能を高めること及び育児に不安を抱く保護者の悩みを解消することなどを目的とする。												
事業内容	事業目的を達成するための各種講座等の実施。育児に関する相談を受け、また、地域との連携を図る。												
実施主体	<input type="checkbox"/> 市による単独直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託      ( <input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input checked="" type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> 市民・NPO ) <input type="checkbox"/> 協働・協力 ( )												
行財政改革 の取り組み													

2. 事業費 <DO>

		令和4年度 執行額(千円)	令和5年度 予算額(千円)	令和6年度 計画額(千円)	令和7年度 計画額(千円)	令和8年度 計画額(千円)	
事業の 予算・実績	主な事業内容	管理運営(指定管理料) 施設修繕	管理運営(指定管理料) 施設修繕	管理運営(指定管理料) 施設修繕	管理運営(指定管理料) 施設修繕	管理運営(指定管理料) 施設修繕(大規模)	
	事業費	89,693	78,925	76,669	81,010	175,000	
	財源内訳	国庫支出金	823	823	823	823	823
		県支出金	823	823	823	823	823
		起債	0	0	0	0	0
		その他	220	220	220	220	220
		一般財源	87,827	77,059	74,803	79,144	173,134
	人件費	2,769.6	2,610.8	2,610.8	2,610.8	2,610.8	
	投入 人員	常勤職員	0.4人	0.4人	0.4人	0.4人	0.4人
		非常勤職員	0人	0人	0人	0人	0人
事業費+人件費		92,463	81,536	79,280	83,621	177,611	

## 3. 目標達成状況 &lt;CHECK&gt;

指標名		説明・算定式	単位	R3目標 R3実績	R4目標 R4実績	R5目標 R5実績	R6目標 R6実績	R7目標 R7実績
目標達成状況	事務事業活動①	施設修繕件数	回	2	2	2	2	2
	事務事業活動②	施設を安全快適に支持するための修繕件数		4	2	—	—	—
	事務事業成果①	利用者数	人	31,000	43,000	80,000	100,000	120,000
		児童センタープリムローズを利用した延べ人数		66,882	87,921	—	—	—
						—	—	—
						—	—	—
目標達成状況の分析	<p>A：全ての目標を達成した。</p> <p>&lt;判断理由&gt;            全ての指標において目標を達成できた。利用者数については、令和元年度の121,528人から令和2年度はコロナ禍のため35,107人に落ち込み、その後の利用者数の回復は困難な状況を想定していたが、令和3・4年度は感染症対策を行いつつ児童を受け入れ目標値を大きく超える結果となった。そのため、令和5年度以降の目標値を上方修正した。</p>							

## 4. 評価結果 &lt;CHECK&gt;

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか。
	2年度	3年度	4年度	A：施策の目標達成に大いに貢献している。
	B	A	A	<判断理由>
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か。
	2年度	3年度	4年度	A：経費の精査が十分になされている。
	A	A	A	<判断理由>
事業手法	評価結果			事業手法は適正か。
	2年度	3年度	4年度	A：事業手法は工夫され、非常に効率的・効果的である。
	A	A	A	<判断理由>
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	2年度	3年度	4年度	B：受益・負担は適正な範囲である。
	B	B	B	<判断理由> 受益者負担は主に貸室利用料であるが、児童が利用者であることから負担割合は低く設定している。

## 5. 事業の見直し・行財政改革の取組内容 &lt;ACTION&gt;

令和4年度に実施した取組内容・効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中高生の利用拡大に向けて、自習席の設置等拡充に努めた。</li> <li>・変圧器交換修繕を実施し、安全な施設運営を行った。また、第2駐車場囲い及び駐車場区画修繕を実施し、乗用車で来場される型の利便性の向上を図った。</li> </ul>
令和5年度に実施する取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・30周年を迎え、地域の方々を実行委員とし、記念のイベント事業を実施する。</li> <li>・全館照明のLED化を実施する（リース）。</li> <li>・施設予約システムの入れ替え及びキャッシュレス決済サービスの導入</li> <li>・令和8年度の大規模改修に向け、修繕必要か所の確認を行う。</li> <li>・中高生が過ごしやすくなるよう環境を整える。</li> </ul>

## 6. 令和6年度の方向性・取組方針 &lt;ACTION&gt;

事業の方向性・取組方針	<input checked="" type="radio"/> 1 現状で継続 <input type="radio"/> 2 拡大して継続 <input type="radio"/> 3 縮小して継続 <input type="radio"/> 4 他事業と統合 <input type="radio"/> 5 休止 <input type="radio"/> 6 その他見直し <input type="radio"/> 令和6年度で終了 <input type="radio"/> 令和5年度で終了 <input type="radio"/> 令和4年度で終了
	<p>&lt;方向性の判断理由・取組方針&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中高生が児童館に求めるサービスについて検討し、提供可能なものから順次実施していく。</li> <li>・児童センタープリムローズは竣工が平成4年9月30日、開館が平成5年4月29日である。令和4年9月で竣工から30年が経過し、施設の老朽化が進む。令和8年度の大規模修繕に向けて修繕の計画をたてる。</li> </ul>

事務事業名	45386 こどもの国管理運営事業													
担当組織	こども健やか部					児童青少年課					担当	青少年担当		
組織コード	R5	18	06	00	会計・款・項・目・大事業・中事業	R5	01	03	02	05	02	01	記入日	令和 5年 6月20日
	R4	18	06	00		R4	01	03	02	05	02	01		

1. 事務事業の概要 <PLAN>

総合振興計画上の位置づけ											実施計画候補		
基本目標・考え方	01	子どもが健やかに育ち、いきいきと輝けるまち						再掲施策	10			● 対象	
施策	03	児童・青少年の育成環境の充実										○ 対象外	
事業期間	平成27年度～令和12年度												
根拠法令 通達等	児童福祉法 児童福祉法施行規則 戸田市立児童センター条例 戸田市立児童センター条例施行規則					関連計画 施政方針		子ども・子育て支援事業計画					
事業区分	<input type="radio"/> 法定受託事務 <input type="radio"/> 自治事務のうち義務的なもの <input checked="" type="radio"/> 自治事務のうち任意のもの												
強靱化計画	<input type="checkbox"/> リスクシナリオ番号：												
総合戦略	<input type="checkbox"/> 施策番号：												
対象	児童（18歳以下の者）と付添人（保護者又は満18歳以上の者で児童の行為に責任をもてるもの）												
事業目的	遊びを通して児童の健全育成を図り、併せて体力増進、コミュニケーションの促進を図り、また、育児に不安を抱く保護者の悩みを解消することなどを目的とする。												
事業内容	事業目的を達成するための各種講座等の実施。育児に関する相談を受け、また、地域との連携を図る。												
実施主体	<input type="checkbox"/> 市による単独直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託                      ( <input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input checked="" type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> 市民・NPO) <input type="checkbox"/> 協働・協力 ( )												
行財政改革 の取り組み													

2. 事業費 <DO>

		令和4年度 執行額(千円)	令和5年度 予算額(千円)	令和6年度 計画額(千円)	令和7年度 計画額(千円)	令和8年度 計画額(千円)	
事業の 予算・実績	主な事業内容	施設の運営及び維持管理	施設の運営及び維持管理	施設の運営及び維持管理	施設の運営及び維持管理	施設の運営及び維持管理	
	事業費	132,953	136,950	128,710	133,337	133,337	
	財源内訳	国庫支出金	823	823	823	823	823
		県支出金	823	823	823	823	823
		起債	0	0	0	0	0
		その他	272	272	272	272	272
		一般財源	131,035	135,032	126,792	131,419	131,419
	人件費	2,769.6	0	2,610.8	2,610.8	2,610.8	
	投入 人員	常勤職員	0.4人	0人	0.4人	0.4人	0.4人
		非常勤職員	0人	0人	0人	0人	0人
事業費+人件費		135,723	136,950	131,321	135,948	135,948	

## 3. 目標達成状況 &lt;CHECK&gt;

指標名		説明・算定式	単位	R3目標 R3実績	R4目標 R4実績	R5目標 R5実績	R6目標 R6実績	R7目標 R7実績
目標達成状況	事務事業活動①	施設修繕件数	件	2	2	2	2	2
	事務事業成果①	利用者数	人	33,000	47,400	170,000	170,000	170,000
				118,586	176,160	—	—	—
						—	—	—
						—	—	—
						—	—	—
目標達成状況の分析	<p>A：全ての目標を達成した。</p> <p>&lt;判断理由&gt;</p> <p>市の執行による大きな修繕（芝生敷設・養生及びプールろ材交換修繕）を実施した。利用者数については、令和元年度の171,811人から令和2年度はコロナ禍のため36,332人に落ち込み、その後の利用者数の回復は困難な状況を想定していたが、令和3・4年度は感染症対策を行いつつ児童を受け入れ、目標値を大きく超える結果となった。そのため、令和5年度以降の目標を上方修正した。</p>							

## 4. 評価結果 &lt;CHECK&gt;

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか。
	2年度	3年度	4年度	A：施策の目標達成に大いに貢献している。
	B	A	A	<判断理由>
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か。
	2年度	3年度	4年度	A：経費の精査が十分になされている。
	B	A	A	<判断理由>
事業手法	評価結果			事業手法は適正か。
	2年度	3年度	4年度	A：事業手法は工夫され、非常に効率的・効果的である。
	A	A	A	<判断理由>
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	2年度	3年度	4年度	B：受益・負担は適正な範囲である。
	B	B	B	<判断理由>
	受益者負担は主に貸室利用料及びプール利用料であるが、児童が利用者であることから負担割合は低く設定している。			

## 5. 事業の見直し・行財政改革の取組内容 &lt;ACTION&gt;

令和4年度に実施した取組内容・効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス対策として、消毒・検温を実施し、感染状況に応じて随時対応の見直しを行った。</li> <li>コロナ対策を行いつつ、3年ぶりに夏季のプール運営を行った。</li> <li>自習席の設置やボール遊びができる場所のある施設として広く周知を行った。</li> </ul> 以上により、利用者が増加した。
令和5年度に実施する取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設予約システムの入替え及びキャッシュレス決済サービスの導入</li> <li>中高生の利用が増加しているので、乳幼児、小学生、中高生の子どもたちがスムーズに利用できるような運営を整える。</li> <li>大規模イベントの復活開催</li> </ul>

## 6. 令和6年度の方向性・取組方針 &lt;ACTION&gt;

事業の方向性・取組方針	<input checked="" type="radio"/> 1 現状で継続 <input type="radio"/> 2 拡大して継続 <input type="radio"/> 3 縮小して継続 <input type="radio"/> 4 他事業と統合 <input type="radio"/> 5 休止 <input type="radio"/> 6 その他見直し <input type="radio"/> 令和6年度で終了 <input type="radio"/> 令和5年度で終了 <input type="radio"/> 令和4年度で終了
	<方向性の判断理由・取組方針> <ul style="list-style-type: none"> <li>軽体育室やスタジアムなどの施設の特色を活かし、乳幼児から中高生までが利用できる事業展開を引き続き推進していく。</li> <li>児童センターこどもの国は竣工が平成27年1月30日、開館が平成27年4月1日である。令和4年1月で竣工から7年が経過したところである。施設の管理については、危険個所の確認や損耗が激しい箇所から優先して計画的に修繕を実施していく。</li> </ul>

事務事業名	7783 学童保育室事業													
担当組織	こども健やか部				児童青少年課				担当		放課後こども担当			
組織コード	R5	18	06	00	会計・款・項・目・大・事・業・中・事・業	R5	01	03	02	06	01	01	記入日	令和 5年 6月20日
	R4	18	06	00		R4	01	03	02	06	01	01		

1. 事務事業の概要 <PLAN>

総合振興計画上の位置づけ											実施計画候補			
基本目標・考え方	01	子どもが健やかに育ち、いきいきと輝けるまち						再掲施策				● 対象		
施策	03	児童・青少年の育成環境の充実										○ 対象外		
事業期間	昭和41年度～令和12年度													
根拠法令 通達等	児童福祉法、子ども・子育て支援法 戸田市学童保育条例 戸田市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準						関連計画 施政方針	子ども・子育て支援事業計画 30 「待機児童ゼロ」継続に向けた保育園と学童保育のさらなる充実						
	事業区分 ○ 法定受託事務 ● 自治事務のうち義務的なもの ○ 自治事務のうち任意のもの													
強靱化計画	□ リスクシナリオ番号：													
総合戦略	■ 施策番号：2-1													
対象	小学校1年生から6年生までの児童及びその保護者													
事業目的	保護者の就労等で放課後の保育を必要とする児童に健全な遊びと生活の場を与え、児童の健全育成に寄与する。													
事業内容	就労などの事情により昼間保護者が家庭にいない小学生の児童に対し、放課後や長期休暇中、保護者に代わって保育を行う。													
実施主体	■ 市による単独直営 □ 委託 (□ 3セク・財団 □ 企業 □ 市民・NPO) □ 協働・協力 ( )													
行財政改革の取り組み	重点戦略2 デジタル化による利便性の高い市民サービス 取組名：学童保育室への児童入退室システムの導入 内容：令和5年度に学童保育室のインターネット環境を利用し、児童の入退室システムを各学童に導入する。これは、学童を利用する児童が学童保育室に入退室した際、保護者に連絡が届く仕組みであり、児童の安全確保につながる。													

2. 事業費 <DO>

		令和4年度 執行額(千円)	令和5年度 予算額(千円)	令和6年度 計画額(千円)	令和7年度 計画額(千円)	令和8年度 計画額(千円)	
事業の 予算・実績	主な事業内容	管理運営 新曽小第3学 童保育室新築	管理運営 LED交換修繕	管理運営 公立学童一部 民営化本格稼 働	管理運営	管理運営	
	事業費	754,581	454,644	680,931	472,660	472,660	
	財源内訳	国庫支出金	198,669	60,086	78,378	78,378	78,378
		県支出金	150,696	61,824	73,501	73,501	73,501
		起債	0	0	0	0	0
		その他	52,735	48,734	65,056	65,056	65,056
		一般財源	352,481	284,000	463,996	255,725	255,725
	人件費	34,620	32,635	32,635	32,635	32,635	
	投入 人員	常勤職員	5人	5人	5人	5人	5人
		非常勤職員	51人	51人	51人	51人	51人
事業費+人件費		789,201	487,279	713,566	505,295	505,295	

3. 目標達成状況 **<CHECK>**

指標名		説明・算定式	単位	R3目標 R3実績	R4目標 R4実績	R5目標 R5実績	R6目標 R6実績	R7目標 R7実績
目標達成状況	事務事業活動① 定員数	市内学童保育室（公立・民間）年度当初の定員数	人	2,228	2,228	2,282	2,282	2,282
	事務事業成果① 入所児童数	市内学童保育室年度当初の入所児童数	人	2,233	2,235	—	—	—
	総合戦略KPI① 入所児童数	市内学童保育室年度当初の入所児童数	人	1,800	1,830	1,860	1,890	1,920
				1,754	1,802	—	—	—
				1,800	1,830	1,860	1,890	1,920
			1,754	1,802	—	—	—	
目標達成状況の分析	<p>A：全ての目標を達成した。</p> <p>&lt;判断理由&gt;            学童保育の需要については令和2年度以降新型コロナウイルス感染症の影響で減少が見込まれたが、共働き家庭の増加等により入所児童数が年々伸びており、学童保育を必要とする児童の受け入れ態勢が出来ている。</p>							

4. 評価結果 **<CHECK>**

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか。
	2年度	3年度	4年度	A：施策の目標達成に大いに貢献している。
	A	A	A	<判断理由>
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か。
	2年度	3年度	4年度	A：経費の精査が十分になされている。
	B	A	A	<判断理由>
事業手法	評価結果			事業手法は適正か。
	2年度	3年度	4年度	A：事業手法は工夫され、非常に効率的・効果的である。
	B	B	A	<判断理由>
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	2年度	3年度	4年度	A：受益・負担は十分な検討、見直しを実施している。
	A	A	A	<判断理由>

5. 事業の見直し・行財政改革の取組内容 **<ACTION>**

令和4年度に実施した取組内容・効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新晋小学校第3学童保育室の新築を行った。</li> <li>・公立・民間学童保育室のおやつ等の予算額を増額し、食育の観点を取り入れおやつ等の質の向上を図った。</li> <li>・県のアドバイザー派遣の利用の他、本市独自でアドバイザーの講義や巡回指導を行い、保育が難しい児童への接し方などを指導員等が学び、保育の質の向上に繋がった。</li> </ul>
令和5年度に実施する取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公立学童保育室の人材不足の解消と民間のノウハウの活用を目指し、美谷本小学校学童保育室の保育業務を民間事業者へ委託する。なお、令和5年度は令和6年3月の引継ぎの期間のみ。</li> <li>・児童の入退室記録が保護者に連絡されるよう、公立学童保育室で入退室システムを導入し、利用者の利便性と児童の安全確保に努める。</li> <li>・県のアドバイザーの巡回指導を充実させ、保育の質の向上に努める。・指導員のリーダー制の研究を行う。</li> </ul>

6. 令和6年度の方向性・取組方針 **<ACTION>**

事業の方向性・取組方針	<input type="radio"/> 1 現状で継続 <input checked="" type="radio"/> 2 拡大して継続 <input type="radio"/> 3 縮小して継続 <input type="radio"/> 4 他事業と統合 <input type="radio"/> 5 休止 <input type="radio"/> 6 その他見直し <input type="radio"/> 令和6年度で終了 <input type="radio"/> 令和5年度で終了 <input type="radio"/> 令和4年度で終了
	<p>&lt;方向性の判断理由・取組方針&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・指導員の保育の質向上のため、巡回支援アドバイザーの活用を積極的に行う。</li> <li>・保育人材の慢性的な不足により、公立学童保育室の十分な人材確保は困難な状況にある。安定した運営を目指し、公立学童保育室1室について民間委託を実施する。令和5年度にプロポーザルによる業者選定を行う。なお、当該学童保育室の会計年度任用職員については、他の学童保育室に異動し、必要人員の充足を図る。将来的には委託を拡大し、派遣職員の手数料の削減につなげる。</li> <li>・夏休み地域児童クラブ支援事業の充実を図る。</li> <li>・むつみ学童において特別支援学級児童の受け入れ体制を整える。</li> </ul>

事務事業名	7690 放課後子ども教室事業													
担当組織	こども健やか部					児童青少年課					担当	放課後こども担当		
組織コード	R5	18	06	00	会計・款・項・目・大事業・中事業	R5	01	10	04	03	01	01	記入日	令和 5年 6月20日
	R4	18	06	00		R4	01	10	04	03	01	01		

1. 事務事業の概要 <PLAN>

総合振興計画上の位置づけ											実施計画候補			
基本目標・考え方	01	子どもが健やかに育ち、いきいきと輝けるまち						再掲施策				● 対象		
施策	03	児童・青少年の育成環境の充実										○ 対象外		
事業期間	平成19年度～令和12年度													
根拠法令 通達等	埼玉県放課後子供教室推進事業補助金交付要綱					関連計画 施政方針		戸田市子ども・子育て支援事業計画						
事業区分	<input type="radio"/> 法定受託事務 <input type="radio"/> 自治事務のうち義務的なもの <input checked="" type="radio"/> 自治事務のうち任意のもの													
強靱化計画	<input type="checkbox"/> リスクシナリオ番号：													
総合戦略	<input checked="" type="checkbox"/> 施策番号：2-4													
対象	実施小学校区内の小学生													
事業目的	子どもたちの安全で安心な活動拠点（居場所）を設け地域の大人の協力を得て、スポーツ・文化活動・地域の皆さんとの交流活動等の取組を実施する。													
事業内容	放課後や週末等に小学校の余裕教室・校庭・体育館等を活用して様々な事業を実施する。（実施校：芦原、美谷本、新曽、喜沢、笹目、戸田東、戸田第一、新曽北、戸田南、笹目東小、美女木小、戸田第二）													
実施主体	<input type="checkbox"/> 市による単独直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託（ <input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input checked="" type="checkbox"/> 市民・NPO） <input type="checkbox"/> 協働・協力（ ）													
行財政改革 の取り組み														

2. 事業費 <DO>

		令和4年度 執行額（千円）	令和5年度 予算額（千円）	令和6年度 計画額（千円）	令和7年度 計画額（千円）	令和8年度 計画額（千円）	
事業の 予算・実績	主な事業内容	戸田市放課後子ども教室事業の支援	戸田市放課後子ども教室事業の支援	戸田市放課後子ども教室事業の支援	戸田市放課後子ども教室事業の支援	戸田市放課後子ども教室事業の支援	
	事業費	356	7,756	8,484	7,969	7,969	
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	33	4,341	4,763	4,763	4,763
		起債	0	0	0	0	0
		その他	0	634	777	777	777
		一般財源	323	2,781	2,944	2,429	2,429
	人件費	0	5,547.95	5,547.95	5,547.95	5,547.95	
	投入 人員	常勤職員	0人	0.85人	0.85人	0.85人	0.85人
		非常勤職員	0人	0.05人	0.05人	0.05人	0.05人
事業費+人件費		356	13,304	14,032	13,517	13,517	

3. 目標達成状況 <CHECK>

指標名		説明・算定式	単位	R3目標 R3実績	R4目標 R4実績	R5目標 R5実績	R6目標 R6実績	R7目標 R7実績
目標達成状況	事務事業活動①	登録促進回数	事業の広報活動の実施回数	回	3	3	4	4
	事務事業成果①	放課後子ども教室登録割合	登録児童数／総児童数	%	1.77	4.64	7.51	10.38
	総合戦略KPI①	放課後子ども教室登録割合	登録児童数／総児童数	%	1.77	4.64	7.51	10.38
					0	0	—	—
					0	0	—	—
目標達成状況の分析	C：全ての目標が達成できなかった。 <判断理由> 放課後子ども教室については、コロナ禍により令和4年度は年間を通じて中止となったため、目標を達成することができなかった。なお、令和5年度については感染状況を考慮しつつ再開出来ている（令和5年6月時点）。							

4. 評価結果 <CHECK>

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか。
	2年度	3年度	4年度	B：施策の目標達成に貢献している。 <判断理由> 令和4年度は実際の事業実施ができなかったが、スタッフの確保や会議開催により、令和5年度以降、事業を継続して行うことが出来よう努めた。
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か。
	2年度	3年度	4年度	A：経費の精査が十分になされている。 <判断理由>
事業手法	評価結果			事業手法は適正か。
	2年度	3年度	4年度	A：事業手法は工夫され、非常に効率的・効果的である。 <判断理由>
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	2年度	3年度	4年度	B：受益・負担は適正な範囲である。 <判断理由> 利用者は児童であることから、保険料分のみ負担をお願いしている。

5. 事業の見直し・行財政改革の取組内容 <ACTION>

令和4年度に実施した取組内容・効果	取組：令和4年度は放課後子ども教室を中止したが、放課後子ども教室コーディネーター会議を1回開催した。また、コロナ収束後の放課後子ども教室の再開方法を検討した。
令和5年度に実施する取組内容	取組：令和5年度は放課後子ども教室を再開する。また、小学校の空き教室やスタッフ数の不足及び感染状況への考慮等により、開催回数が小学校や学年ごとに差が出ることで、開催回数も最終的にどのくらいになるか不明なため、本人負担分の保険料を令和5年度は徴収しないこととする。

6. 令和6年度の方向性・取組方針 <ACTION>

事業の方向性・取組方針	<input checked="" type="radio"/> 1現状で継続 <input type="radio"/> 2拡大して継続 <input type="radio"/> 3縮小して継続 <input type="radio"/> 4他事業と統合 <input type="radio"/> 5休止 <input type="radio"/> 6その他見直し <input type="radio"/> 令和6年度で終了 <input type="radio"/> 令和5年度で終了 <input type="radio"/> 令和4年度で終了
	<方向性の判断理由・取組方針> 地域の潜在的な人材や保護者世代のスタッフ確保を図るため、引き続き民生委員・児童委員協議会や公立学校PTA連合会に対し、事業への協力を進めていきたい。開催場所については、特に校舎改修工事等が実施される学校においては、工事計画段階から学校や関係部局と継続して事業が実施できるよう調整してまいりたい。また、開催内容の充実を図るため、各小学校で好評な遊びや活動内容について、他校のスタッフでも情報を共有していく。



事務事業名	7440 青少年健全育成事業													
担当組織	こども健やか部					児童青少年課					担当	青少年担当		
組織コード	R5	18	06	00	会計・款・項・目・大事業・中事業	R5	01	10	04	03	01	02	記入日	令和 5年 6月20日
	R4	18	06	00		R4	01	10	04	03	01	02		

1. 事務事業の概要 <PLAN>

総合振興計画上の位置づけ										実施計画候補			
基本目標・考え方	01	子どもが健やかに育ち、いきいきと輝けるまち							再掲施策				● 対象
施策	03	児童・青少年の育成環境の充実										○ 対象外	
事業期間	昭和50年度～令和12年度												
根拠法令 通達等	戸田市社会教育関係団体等事業補助金交付要綱 埼玉県青少年健全育成条例、各団体別補助金等交付 要綱、「成人の日」の行事について《文部事務次官 通達》、社会教育法、子ども・若者育成支援推進法					関連計画 施政方針							
事業区分	<input type="radio"/> 法定受託事務 <input type="radio"/> 自治事務のうち義務的なもの <input checked="" type="radio"/> 自治事務のうち任意のもの												
強靱化計画	<input type="checkbox"/> リスクシナリオ番号：												
総合戦略	<input type="checkbox"/> 施策番号：												
対象	市内在住の青少年 当年18歳になった人、成人式は当年20歳になった人												
事業目的	青少年の健全育成と非行防止のための活動の充実を図り、青少年が社会的に自立した個人として成長するよう支援する。 青少年に対しボランティア活動などの社会奉仕体験、自然体験その他の活動の機会を提供する事業の実施及び奨励を図る。												
事業内容	青少年に対する各種啓発事業や地域の巡回補導を実施し、青少年健全育成及び非行防止を図る。 各青少年団体に対する活動支援の実施、補助金の交付、成人式・はたちの集いの実施												
実施主体	<input type="checkbox"/> 市による単独直営 <input type="checkbox"/> 委託（ <input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> 市民・NPO） <input checked="" type="checkbox"/> 協働・協力（青少年団体等）												
行財政改革 の取り組み	重点戦略1 テーマ① 取組名：青少年活動が終了した団体の解散等、団体運営の見直し 内容：青少年活動の状況を考慮し、青少年団体の一部解散等、団体の運営に係る見直しを団体とともに実施する。												

2. 事業費 <DO>

		令和4年度 執行額（千円）	令和5年度 予算額（千円）	令和6年度 計画額（千円）	令和7年度 計画額（千円）	令和8年度 計画額（千円）	
事業の 予算・実績	主な事業内容	青少年育成補 導事業等・成 人式・青少年 祭り・リーダー	青少年育成補 導事業等・成 人式・青少年 祭り・リーダー	青少年育成補 導事業等・成 人式・青少年 祭り・リーダー	青少年育成補 導事業等・成 人式・青少年 祭り・リーダー	青少年育成補 導事業等・成 人式・青少年 祭り・リーダー	
	事業費	9,054	12,712	13,955	12,582	12,582	
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		起債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	9,054	12,712	13,955	12,582	12,582
	人件費	10,386	9,790.5	9,790.5	9,790.5	9,790.5	
	投入 人員	常勤職員	1.5人	1.5人	1.5人	1.5人	1.5人
		非常勤職員	0人	0人	0人	0人	0人
事業費+人件費		19,440	22,503	23,746	22,373	22,373	

3. 目標達成状況 **<CHECK>**

指標名		説明・算定式	単位	R3目標 R3実績	R4目標 R4実績	R5目標 R5実績	R6目標 R6実績	R7目標 R7実績
目標達成状況	事務事業活動①	補助金の種類	種類	12	12	12	13	13
	事務事業成果①	事業への満足度	%	12	12	—	—	—
				18	18.4	18.8	19.2	19.7
				22.1	—	—	—	—
						—	—	—
						—	—	—
目標達成状況の分析	A：全ての目標を達成した。 <判断理由> 全ての指標において目標を達成できた。							

4. 評価結果 **<CHECK>**

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか。
	2年度	3年度	4年度	B：施策の目標達成に貢献している。 <判断理由> 青少年団体や地域活動に関わる方々が多忙で活動への参加協力が厳しくなっており、児童も同様に団体の活動への参加が難しくなっている。
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か。
	2年度	3年度	4年度	A：経費の精査が十分になされている。 <判断理由>
事業手法	評価結果			事業手法は適正か。
	2年度	3年度	4年度	B：事業手法は適正な内容である。 <判断理由> 青少年団体は青少年の健全育成事業に取り組んでいるが、今の青少年に働きかける新たな手法の検討も必要である。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	2年度	3年度	4年度	B：受益・負担は適正な範囲である。 <判断理由> 青少年団体に各種補助金を支出しているが、祭りや研修会等開催時により多くの青少年の参加があることが望ましい。

5. 事業の見直し・行財政改革の取組内容 **<ACTION>**

令和4年度に実施した取組内容・効果	取組名：青少年活動が終了した団体の解散等、団体運営の見直し 財政効果：(実績値) 323千円 積算根拠： R5年度当初予算 青少年を育てる地域の会補助金 解散1団体分等 323千円
令和5年度に実施する取組内容	重点戦略1該当 取組名：青少年活動が終了した団体の解散等、団体運営の見直し 内容：横断的なテーマの事業を実施する青少年健全育成市民会議について、スリム化を図り実行力のある組織体制とする。また、地域の会が主体となって「こども110番の家」事業については、市が主体となり見直しを行い、持続可能な運営を目指す。 その他、子どもたちが様々な体験ができる事業について新たな補助金を検討する。

6. 令和6年度の方向性・取組方針 **<ACTION>**

事業の方向性・取組方針	<input checked="" type="radio"/> 1 現状で継続 <input type="radio"/> 2 拡大して継続 <input type="radio"/> 3 縮小して継続 <input type="radio"/> 4 他事業と統合 <input type="radio"/> 5 休止 <input type="radio"/> 6 その他見直し <input type="radio"/> 令和6年度で終了 <input type="radio"/> 令和5年度で終了 <input type="radio"/> 令和4年度で終了
	<方向性の判断理由・取組方針> 青少年の健全育成事業については、成年年齢の引き下げやスマートフォンの普及、青少年の行動様式の変化などがあり、青少年が道を踏み外さないようにという観点のほかに、青少年を害悪から守るという観点も重要である。引き続き青少年団体活動が必要である。また、子どもたちが犯罪に巻き込まれる事件も発生している中で、地域で子どもを守る活動について再検討を行う。青少年の様々な問題については戸田市青少年問題協議会等で審議していく。

事務事業名	35924 青少年の居場所事業													
担当組織	こども健やか部					児童青少年課					担当	青少年担当		
組織コード	R5	18	06	00	会計・款・項・目・大事業・中事業	R5	01	10	04	03	01	03	記入日	令和 5年 6月20日
	R4	18	06	00		R4	01	10	04	03	01	03		

1. 事務事業の概要 <PLAN>

総合振興計画上の位置づけ										実施計画候補			
基本目標・考え方	01	子どもが健やかに育ち、いきいきと輝けるまち						再掲施策	10			● 対象	
施策	03	児童・青少年の育成環境の充実										○ 対象外	
事業期間	平成23年度～令和12年度												
根拠法令 通達等							関連計画 施政方針	子ども・子育て支援事業計画					
事業区分	<input type="radio"/> 法定受託事務 <input type="radio"/> 自治事務のうち義務的なもの <input checked="" type="radio"/> 自治事務のうち任意のもの												
強靱化計画	<input type="checkbox"/> リスクシナリオ番号：												
総合戦略	<input type="checkbox"/> 施策番号：												
対象	市内在住及び市内の高校に通学する青少年(小学生～高校生)												
事業目的	公共施設を青少年に開放し、安全・安心な居場所を確保することを目的とする。												
事業内容	市内公共施設に指導員を配置して青少年の居場所として開放し、青少年が自由に利用できるようにする。												
実施主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市による単独直営 <input type="checkbox"/> 委託                      ( <input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> 市民・NPO ) <input type="checkbox"/> 協働・協力 ( )												
行財政改革 の取り組み													

2. 事業費 <DO>

		令和4年度 執行額(千円)	令和5年度 予算額(千円)	令和6年度 計画額(千円)	令和7年度 計画額(千円)	令和8年度 計画額(千円)	
事業の 予算・実績	主な事業内容	青少年の居場所の運営、青少年の広場の運営					
	事業費	16,239	18,758	30,066	18,958	18,958	
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		起債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	16,239	18,758	30,066	18,958	18,958
	人件費	4,846.8	4,568.9	4,568.9	4,568.9	4,568.9	
	投入 人員	常勤職員	0.7人	0.7人	0.7人	0.7人	0.7人
		非常勤職員	0人	0人	0人	0人	0人
事業費+人件費		21,086	23,327	34,635	23,527	23,527	

3. 目標達成状況 **<CHECK>**

指標名		説明・算定式	単位	R3目標 R3実績	R4目標 R4実績	R5目標 R5実績	R6目標 R6実績	R7目標 R7実績
目標達成状況	事務事業活動①	事業周知件数	事業の広報活動の実施回数	人	6	6	7	7
	事務事業成果①	利用者数	青少年の居場所を利用した延べ人数	人	13	13	—	—
					380	440	680	1,040
					1,260	1,779	—	—
							—	—
							—	—
目標達成状況の分析		A：全ての目標を達成した。 <判断理由> 全ての指標において目標を達成できた。						

4. 評価結果 **<CHECK>**

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか。
	2年度	3年度	4年度	A：施策の目標達成に大いに貢献している。 <判断理由>
	B	A	A	
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か。
	2年度	3年度	4年度	A：経費の精査が十分になされている。 <判断理由>
	B	A	A	
事業手法	評価結果			事業手法は適正か。
	2年度	3年度	4年度	A：事業手法は工夫され、非常に効率的・効果的である。 <判断理由>
	B	A	A	
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	2年度	3年度	4年度	B：受益・負担は適正な範囲である。 <判断理由> 子どもたちが安全・安心に過ごせる場所を提供するため、利用料の負担は求めている。
	A	B	B	

5. 事業の見直し・行財政改革の取組内容 **<ACTION>**

令和4年度に実施した取組内容・効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・青少年の居場所について、大学生を中心とした運営スタッフについて、はたちの集い実行委員にも声を掛けるなど、スタッフの拡充に努めた。</li> <li>・青少年の広場について、予算を要する業者修繕を手配するだけでなく、職員による簡易的な補修も積極的に実施した。</li> </ul>
令和5年度に実施する取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・青少年の居場所について追加で臨時開催を行う。</li> <li>・青少年の広場について、設置から年数の経過している、本町広場と中町広場について設備の劣化が激しく、業者修繕を行いながら適切に維持していく。</li> <li>・人件費が高騰しており、青少年の広場の巡回警備業務について精査し、見直しを行っていく。</li> <li>・ボールで遊べる場所は人気があり、新たな場所の研究や、バスケットゴールの設置等を検討していく。</li> </ul>

6. 令和6年度の方向性・取組方針 **<ACTION>**

事業の方向性・取組方針	<input checked="" type="radio"/> 1 現状で継続 <input type="radio"/> 2 拡大して継続 <input type="radio"/> 3 縮小して継続 <input type="radio"/> 4 他事業と統合 <input type="radio"/> 5 休止 <input type="radio"/> 6 その他見直し <input type="radio"/> 令和6年度で終了 <input type="radio"/> 令和5年度で終了 <input type="radio"/> 令和4年度で終了
	<方向性の判断理由・取組方針> 青少年の居場所については、居場所の開催回数を増やしていく。場所、スタッフの確保及び使用施設の検討を進めるとともに、「おむかえ制度」を含め、周知をさらに行っていく。 青少年の広場については、人気の高い施設であり、子どもの安心・安全な居場所として今後も提供していく。また、新たな場所の研究を行っていく。